

文化財
見聞録

現存する町内最古の木造建築・日吉神社本殿など
蔵王町指定文化財4件を新規指定!!



①日吉神社本殿全景。②向拝虹梁の木鼻に彫られた象の彫刻。
③側面の彫刻と極彩色塗の痕跡。④内部の装飾絵画(非公開)。

町内の指定文化財は計34件に 町教育委員会では町文化財保護条例に基づき、町内の文化財のうち重要なものを指定して保護の対象としています。このほど、令和6年度から調査・検討を重ねてきた町文化財保護委員会の答申に基づいて、令和7年11月10日に4件の蔵王町指定文化財の新規指定が告示されました。これにより町内の指定文化財は国指定1件、県指定3件、町指定30件の計34件となりました。

地形・地質遺産を初めて指定 今回新規指定されたのは、有形文化財の建造物1件、天然記念物2件、無形民俗文化財の風俗慣習1件。このうち天然記念物は町内では初めて地形・地質分野での指定となります。このほど認定1周年を迎えた蔵王ジオパークの構成資産でもあり、学術的な重要性の評価と同時に町として適切に保全を図っていくことがねらいです。

ひよしじんじゃほんでん
日吉神社本殿 (有形文化財・建造物)

日吉神社は平沢字三本槻にあり、江戸時代の平沢領主であった高野家ゆかりの神社です。高野家は伊達家譜代の家臣で、慶長7年(1602年)の平沢移住以後江戸時代の260年余りにわたって平沢領内の安定に尽くしました。現在残る本殿は、高野家18代武兼によって正徳3年(1713年)に造営されました。

礎石建ての本殿は一間社流造り、板葺きで、各部材には渦を巻く唐草文など躍動的で優雅な装飾を施しています。朱塗りや胡粉と呼ばれる白色顔料から、かつては色鮮やかな極彩色塗であったことが分かります。

町内に残る現存最古の木造建築であると同時に、建築年代の明らかな江戸時代中期の社殿建築として仙台藩内の建築土史を考察する上でも貴重です。

とおがった
遠刈田のちゃせんこ (無形民俗文化財・風俗慣習)

1月14日の晩に子どもたちが連れ立って家々を回り、戸口で「明きーの方からちゃせんこに来した」と口上を唱えながら餅や菓子などをもらって歩く小正月の年中行事です。「明きの方」とは、その年の歳徳神(福の神)が居るとされる恵方(えほう)のことで、子供たちを福の神に見立てて餅や菓子でもてなすのです。

旧仙台藩領の宮城県を中心に東北南部で古くから行なわれてきた伝統的な年中行事で、町内では曲竹地区



の旧家・我妻家に伝わる「万年記」の中に「茶せん子二餅并団子進上」とあり、約200年前の江戸時代後期には行なわれていたことが分かります。

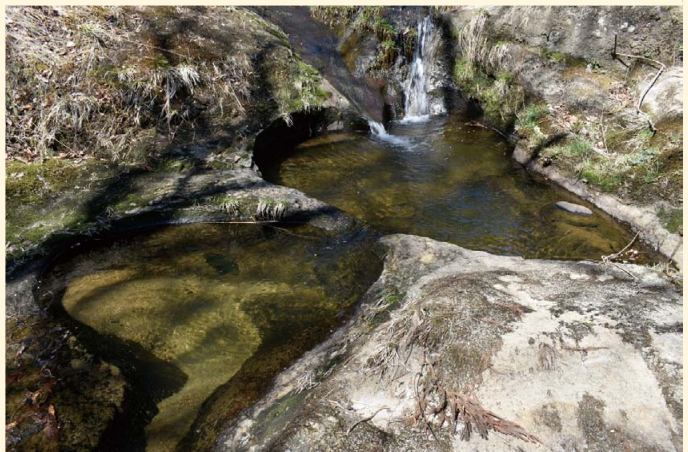
戦後の時代の変化とともに昭和30年代には多くの地域で途絶えてしまいましたが、遠刈田のちゃせんこは小正月の年中行事として現在も続いており、地域の伝統文化を伝えるものとして貴重です。このほど、遠刈田温泉の地域住民の皆さんによって遠刈田ちゃせんこ保存会が結成され、小学校などと協力して伝承に取り組んでいます。

かまくらさわ おうけつぐん
鎌倉沢の甌穴群 (有形文化財・天然記念物)

平沢字鎌倉沢の鎌倉温泉から続く林道を200mほど進むと、岩盤の露出した鎌倉沢の川底に大きな円形の穴が十数か所連なっているのを見ることができます。これは、岩肌にできた小さな窪みの中に入り込んだ礫が、渦を巻く水流の作用でしだいに岩盤を削り取り、長い年月をかけて穴が拡大したもので、甌穴(ポットホール)と呼ばれるものです。現在は下部に土砂が溜まり埋没していますが、以前は2mほどの深さがあり子どもたちが泳ぐ姿も見られました。

鎌倉沢一帯には約1,000万～800万年前の浅い海の堆積物である軟質の地層が分布し、甌穴群はその下にある火山噴出物からなる硬い地層に形成されています。

鎌倉沢の水流が岩盤を穿ち、数千年単位の悠久の時を経て造り出した自然の造形は、地層の傾斜や岩盤の硬度など複数の条件が重なり合うことで生み出された地形学的にも貴重な河床地形です。また、甌穴群の独特の景観は、水鏡に映える新緑や紅葉など、四季折々の美しさも楽しませてくれています。



円田珪藻土 (有形文化財・天然記念物)

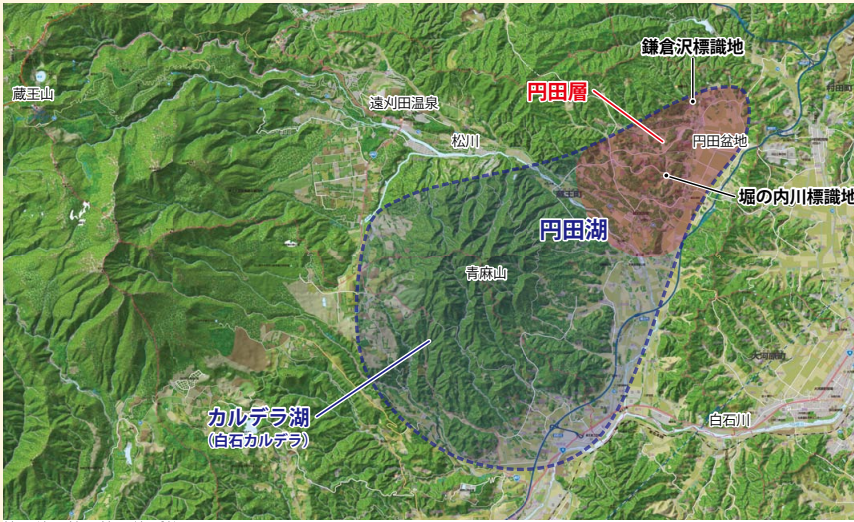
今から約200万～100万年前、現在の蔵王町東部には「円田湖」と呼ばれる大きな湖がありました。円田・平沢・小村崎地区に分布する「円田層」と呼ばれる地層が、その時代の湖底の堆積物です。珪藻という植物プランクトン（藻の一種）のガラス質の殻を多量に含むので「珪藻土」と呼ばれます。

現在、堀の内川（円田・堀の内川標識地）と鎌倉沢川（平沢・鎌倉沢標識地）の河岸で円田層を観察することができます。堀の内川では水平方向に整った縞模様が見られ、静かな湖底の堆積物と考えられます。一方、鎌倉沢川では縞模様が複雑に波打っています。これは、水平に堆積した地層が後に地震や地滑りなど

の影響で乱されたことを示しており、湖岸に近い場所の堆積物と考えられます。

珪藻土は耐火性と断熱性に優れた性質を持ち、七輪の材料や建材として利用されてきました。旧円田村の珪藻土は大変良質であることから「円田珪藻土」と呼ばれ、明治後期から昭和30年代にかけて盛んに採掘されました。大正12年に仙南温泉軌道（軽便鉄道）の平沢駅が開業すると珪藻土出荷の拠点となり、最盛期には毎日2トン積み貨車で10両の出荷があったそうです。こうして円田珪藻土の採掘事業は、近代から現代への移行期に地域の発展を後押ししたのです。

円田珪藻土は、約200～100万年前の「円田湖」の存在を教えてくれるとともに、近現代の蔵王町の歴史を語る上でも欠くことのできない地質遺産と言えます。



初期の円田湖の範囲と円田層の分布範囲

▶今から約370万年前に起こった巨大噴火によって地下から大量のマグマを噴出した跡に、白石カルデラと呼ばれる大陥没坑が形成されました。カルデラはやがて水を溜え、大きな淡水湖(円田湖)となりました。その後、奥羽山脈や東側の丘陵の隆起によって湖の範囲は徐々に縮小したと考えられます。▶円田層は約200～100万年前の静かな湖底に堆積した地層です。約100万年前には、隆起した奥羽山脈の上で蔵王火山が活動を始めます。約40万年前には円田湖の南西部に出現した青麻火山の山体と火砕流などが水域の大部分を埋め、現在に近い地形と景観が形成されました。



河岸の崖に見える円田層の珪藻土（堀の内川）



円田層の水平堆積（堀の内川）



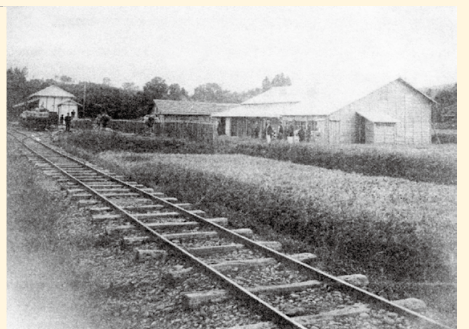
円田層の乱堆積（鎌倉沢川）



円田珪藻土の採掘場と乾燥小屋



人力で行なわれた珪藻土の採掘作業



軽便鉄道平沢駅と珪藻土出荷倉庫（右）

文化財トピックス

蔵王町指定文化財 高野家記録のデジタルアーカイブを公開

～江戸時代中期の仙台藩の藩政と武家財政、農村や百姓の生活に関する貴重な歴史資料～



伊達家譜代の家臣で慶長7年(1602年)に旧刈田郡平沢村(現蔵王町大字平沢)に所領と平沢要害屋敷を拝領した高野家は、江戸時代を通じて平沢の地を治め地域の安定に尽くしました。「高野家記録」は、十八代武兼、十九代倫兼による元禄9年(1696年)から天明2年(1782年)までの86年間の記録を中心とした史料群で、仙台屋敷、藩主の参勤交代による江戸詰、在郷平沢での出来事などを詳細に綴った生活記録です。

江戸時代中期の仙台藩における藩政全般から武家財政、農村や百姓の生活などを知る上で大変重要な内容で、仙台藩の正史である「伊達治家記録」にも匹敵する貴重な歴史資料とされています。史料群の大部分を町内個人が所有し、町指定文化財に指定されています。

町教育委員会では、一部資料を所蔵する宮城県図書



館と宮城教育大学附属図書館を含む所有者の協力を得て、令和6年度にこれらのデジタル化事業を行ない、このほどデジタルアーカイブとして公開しました。広く調査・研究利用等に活用され、町の歴史解明にもつながることを期待しています。

教育委員会からのお願い —「町の宝」を収集しています—

古い家や蔵などを片付け、古文書などを見つけたら捨てずにご連絡を!

～古い手紙や帳簿、絵図、地図、巻物、写真、美術工芸品、民具などは貴重な歴史資料かもしれません～

町では昭和50年代に蔵王町史編さん事業の一環として町民のお宅に残る古文書などを借用し、調査・研究を行なってその成果を『蔵王町史』にまとめました。その後、借用した資料の大部分は町民の皆さんへ返却されています。町の歴史を紐解く大切な「町の宝」が、あなたのご家庭にもあるかもしれません。

古い家や蔵、物置などを片付けた際に、古い手紙や証文、帳簿、絵図、地図、巻物、写真、絵葉書、美術工芸品、民具などを見つけ、処分をお考えの場合には、捨てずにはまず教育委員会へご一報ください。文化財

専門職員がお伺いして確認の上、歴史資料として保全が必要な場合には現状保存または町への寄贈・寄託へのご協力をお願いします。

歴史資料として取り扱う可能性のあるものは、概ね戦前までのもの、戦後のものでも町の歴史を記録する上で重要なものです。また、古い家ではふすまの下貼りに反故紙として古文書が用いられていることが多く、これも貴重な歴史資料の可能性がります。

美術工芸品や民具は、概ね昭和50年以前までに町内で製作または使用されていたものを収集しています。大型であったり、既に同種資料を所蔵している場合には収集の対象とならない場合もあります。

「もしかして?」と思ったら、まずは教育委員会の文化財担当へご連絡をお願いします。

【オンラインde文化財】最新の情報はWEBでチェック!

【WEBSITE】 蔵王町の歴史・民俗と文化財の総合WEBサイト

【Facebook】 蔵王山麓・蔵王町の歴史と文化財のいまを発信

【Instagram】 縄文時代の集落跡 谷地遺跡の出土品ギャラリー

【Sketchfab】 画面上でぐるぐる回せる文化財の三次元モデル



WEBSITE
dokitan.com



Facebook
zao.heritage



Instagram
zao_yachisite



Sketchfab
zao_heritage

蔵王町の歴史と文化財 どきたん通信 No.011

令和8年(2026年)3月発行 [不定期発行]

蔵王町教育委員会 生涯学習課(文化財保護係)

〒989-0821 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦5番地

TEL 0224-33-2018 FAX 0224-33-2019

E-Mail info@dokitan.com WEB https://www.dokitan.com